

図 1 : 階 段

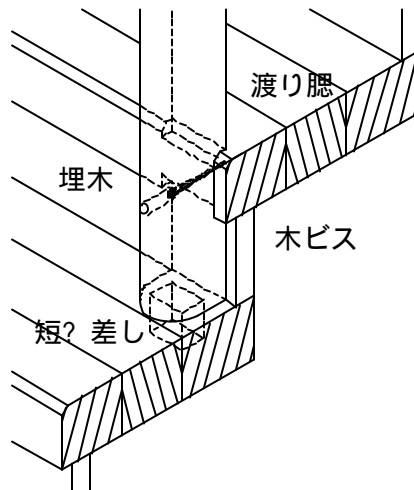


図 2 : 手摺子詳細図

階段ディテール

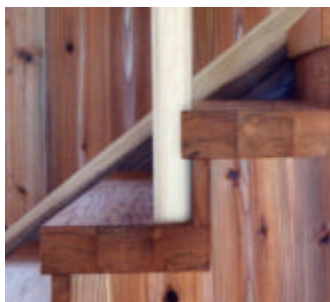


写真 1 階段施工例
踏板 厚 75mm 杉赤味板

非赤枯性溝腐れ病に侵された山武杉は、長尺材が取れないために市場性が薄く放置されがちである。しかし、病害を受けた部分以外は十分に利用可能であり、思いがけない良材が取れる場合がある。

この例では良質な赤味の材を階段に使用した。短尺材を 75 mm角に仕上げて現場集成している。(図 1、写真 2) 現場集成の方法は単純で、接着剤で張り合わせ、見え隠れの部分に構造用合板をビスで縫い付けただけである。当然多少の隙間はできるが使用上全く支障は無い。



写真 2 階段施工例
手摺り・手摺り子 75 x 75mm
桧 丸面取り

手摺りは桧である。手摺り子は踏板に渡り臑とし、木ビスで止めて埋木をする。脚部は踏板に短? 差しである。(図 2、写真 1)。単純だが金物を感じさせず、強固な納まりである。

仕上げはすべてオイルフィニッシュ、踏板・蹴込板はオイルフィニッシュ+蜜蝋ワックス 1 回塗りとしている。塗料はさんむフォレストの植物油で木の吸方湿を妨げず、木の持つ自然な風合いを保ち保護する。

(有)稗田総合建築設計事務所 稗田忠弘
協力: 本間一夫